

イタリア現代彫刻を代表する作家の一人、ポモドーロ(1926～)は、1950年代頃から独学で彫刻の制作を始め、20世紀の抽象彫刻界をリードしたコンスタンティン・ブランクーシ(1876～1957)の作品に衝撃を受けて、本格的に彫刻家の道を歩き始めました。球や円すい、角すいなどの幾何学的な形態の磨き抜かれた表面を切り裂き、その内部を刻み込んだ作品で知られます。

イタリアのモルチャーノ・ディ・ロマーニャで生まれたポモドーロの心に最初に刻まれた映像は、故郷の岩山や大地の裂け目といった自然の要素だったといえます。また、ポモドーロは転機となったブランクーシの作品との出会いで、その美しい形態に魅せられながらも、形態を破壊し、内部に自分の記号全てを注ぎ込みたいという発想が生まれたと語っています。破壊と創造が交差するポモドーロの作品は、故郷の原風景や、自身の進む道を決定づけたブランクーシの彫刻との出会いが生み出したものと言えるでしょう。

ここでは、ポモドーロの代表作の一つ「球体をもった球体」を中心に紹介します。ポモドーロは、球を世界や地球、母親の胎内、命の根源とも捉え、その表面をむしばむ鋭い裂け目は根源性、深層意識、物質に潜む力を表すものと考えています。破壊と創造を通して、完璧な形態が内部に宿すエネルギーを視覚化したようなポモドーロの作品をお楽しみください。

### ■展示作品リスト

No.	作家名	生没年	作品名	制作年	大きさ(cm)	材質
1	アルナルド・ポモドーロ	1926～	球体をもった球体	1963	100.0×100.0×100.0	ブロンズ
2	アルナルド・ポモドーロ	1926～	大きい船首	1993-94	170.0×170.0×130.0	ブロンズ
3	アルナルド・ポモドーロ	1926～	戦い:パルチザンのために	1971	76.8×55.9	版画・紙
4	アルナルド・ポモドーロ	1926～	裏のイメージ	1977	74.8×55.5	版画・紙

※No.2の作品は1階エントランスホールに展示。

### パブリックゾーン

### イタリア彫刻 —20世紀の表現—

### ■展示作品リスト

No.	作家名	生没年	作品名	制作年	大きさ(cm)	材質
1	ジャーコモ・バルラ	1871～1958	ボッチョーニの手の力線	1915	82.3×73.0×25.1	真鍮
2	ルチャーノ・ミングッツィ	1911～2004	二人の像	1950	146.2×95.4×68.3	ブロンズ

※1階エントランスホールに展示。